

指定校番号	30038	学級活動	○	生徒会活動	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	---	-------	------	------

平成30年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立野坂中学校	校長	井村 誠治	生徒指導主事	才野 力
-----	------------	----	-------	--------	------

**取組事例名** 『NOSAKA 運動』

**取組における育てたい資質・能力**

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	3	「主体性・積極性」	2	「自己有用感」	1

**取組のねらい** 『NOSAKA 運動』

「N」…仲間を「O」…思いやろう「S」…支えあおう「A」…相手に言おう「K」…感謝の気持ちを「A」…ありがとう というスローガンの下、各委員会で様々な取り組みを行ってきた。

**取組の具体的内容** 『チャレンジクラスマッチ』

「チャレンジクラスマッチ」と題し、委員会の取組を各クラス単位で競い評価していく。  
 学級委員会…「グリーティングカード（あいさつ）」、保健体育委員会…「ハンカチ・水筒チェック」  
 美化委員会…「教室整備」、文化委員会…「給食中の放送による学校クイズ」、図書委員会…「朝読書チェック」、給食委員会…「配膳チェック」

**取組の課題・創意工夫** 『外発的動機付けから内発的動機付け』

「チャレンジクラスマッチ」の期間は、生徒も意識をして取組むことができるが、取組が終わると意識が低下する傾向がある。基本的な習慣を身につける為の外発的動機付けは必要であるが、そこから道徳的価値感を高め、内発的動機付けに移行するための取組みの工夫が必要である。

**取組の成果（効果）** 『めざす生徒像を意識したはたらきかけ』

今年で「NOSAKA 運動」も3年目になるが、「学習や体験を通して互いに学びあう生徒像」が、定着してきたように感じる。期間限定の感は否めないが、生徒は素直に取組み、意欲を持って頑張っていた。これからは、この「NOSAKA 運動」を進化させていく必要があると感じる。その為には教員が「めざす生徒像」を意識した取組を意図的・計画的に実行していく必要がある。

**今後の展開** 『縦割り活動』

今まで体育大会や文化祭などの行事の中でも「縦割り活動」は行ってきたが、それが普段の学校生活に生かされる場面が少なかった。本校は、3学期から「縦割り清掃」に取組む。異学年のグループでリーダーを中心に3学期の期間同じ場所を清掃することになるが、「縦割り清掃」の取組を通して「自己有用感」や「主体性」、「コミュニケーション能力」も向上し、人間関係が密になると考える。

**他教科との関わり** 『スパイラルアップ』

どの教科においても「教え合い」などのグループ活動が取入れられているが、さらに上記の取組を実施することで「自己有用感」「主体性」「コミュニケーション能力」が向上し、「教え合い」「グループ活動」もさらに深化してスパイラルアップしていくと考える。

